

令和6年度 高津支援学校 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程学習指導	変化する社会での自立と社会参加をめざし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を基に、系統的、発展的な教育課程と「たかつスタンダード」を編成する。	① 「たかつスタンダード」を作成し、カリキュラム・マネジメントを推進する。 ② 認知発達の知識と視点で指導方法を整理し、授業力の向上を図る	① 校内で統一したハンドサインや掲示等の指導方法を系統的に整理し、「たかつスタンダード」をデザインする。 ② 「たかつ教育内容系統表」と個別教育計画をもとに、教員の手立てと児童・生徒の学習評価を明確にする。	① 教育課程をバージョンアップすることができたか。 ② 指導方法を整理し、認知発達を促す授業改善を行うことができたか。
2	児童生徒・指導支援	児童・生徒一人ひとりの「学び続ける力を学ぶ」ために、アセスメントを基にした指導・支援を組織的に実践する。	① 教員のアセスメントスキルを高め、根拠のある指導・支援を行う。 ② 題材・教材・教具を常に創意工夫・改善し、質の高い授業を行う。	① 学習会や予防的ケース会等を活用し、アセスメントを基にした組織的な指導・支援を実践する。 ② 授業のねらいを明確にし、集団の中での個別の課題を設定し、支援の手立てを最適化した授業づくりを徹底する。	① アセスメントを活用した指導・支援を行うことができたか。 ② 適切な支援の手立てを講じた授業づくりができたか。
3	進路指導・支援	社会の中での役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するキャリア発達をめざし、社会の変化に対応する進路指導・支援を実践する。	① キャリア発達の視点でカリキュラム・マネジメントを進め、学習活動を組み立てる。 ② 小学部から高等部まで、系統性・一貫性のある教育を保護者とともに行う。	① 実習や事業所の見学、学習会や研修会等を実施し、保護者とともにキャリア教育の視点で児童・生徒の成長を促進する。 ② 懇談会や進路学習会等において、保護者のキャリア教育に対する理解を深める。	① 自立と社会参加の視点でキャリア教育を進めることができたか。 ② 進路に関する保護者への情報提供及び保護者との情報共有ができたか。
4	地域等との協働	多様な価値観の人々がお互いに相手の生活、文化、考えを尊重するコミュニティづくりと子どもの発達支援を、地域等と協働しておこなう。	① 地域を学習の場として活用し、地域住民・機関と連携した取組を充実させる。 ② 共生社会の実現に向けて、地域における障害理解を深める。	③ 地域交流やボランティア等の受け入れを促進し、地域とのつながりを強化する。 ④ 地域を知ること、地域に発信することを通して、地域と協働した企画・運営を進める。	① 地域と連携、協働した学習活動に取り組むことができたか。 ② 地域のさまざまな資源を活用し、主体的に活動することができたか。
5	学校管理学校運営	開校50周年を迎える学校として、児童・生徒が安心して学べるための教育環境整備及び校務の整理と、地域と協働した危機管理体制の見直しを進める。	① 児童・生徒の安全と健康を守るための防災対策と防災教育を推進する。 ② 校内の整理整頓と業務の効率化を図り、児童・生徒の学習活動を最大限に有効にするための環境を整える。	① 教職員一人ひとりが事前の危機管理と未然防止に努め、事故・災害等に備えた取り組みを進める。 ② デジタルとアナログのそれぞれの利点を活かし、教材の共有、情報機器の活用、会議の精選・効率化を推進する。	① 災害や事故等に備えた対策・防災教育の充実を図ることができたか。 ② 業務を効率よく遂行する取組ができたか。